

(練馬区 某住宅 沈下修正工事)

平成23年度

練馬区 某住宅 沈下修正工事

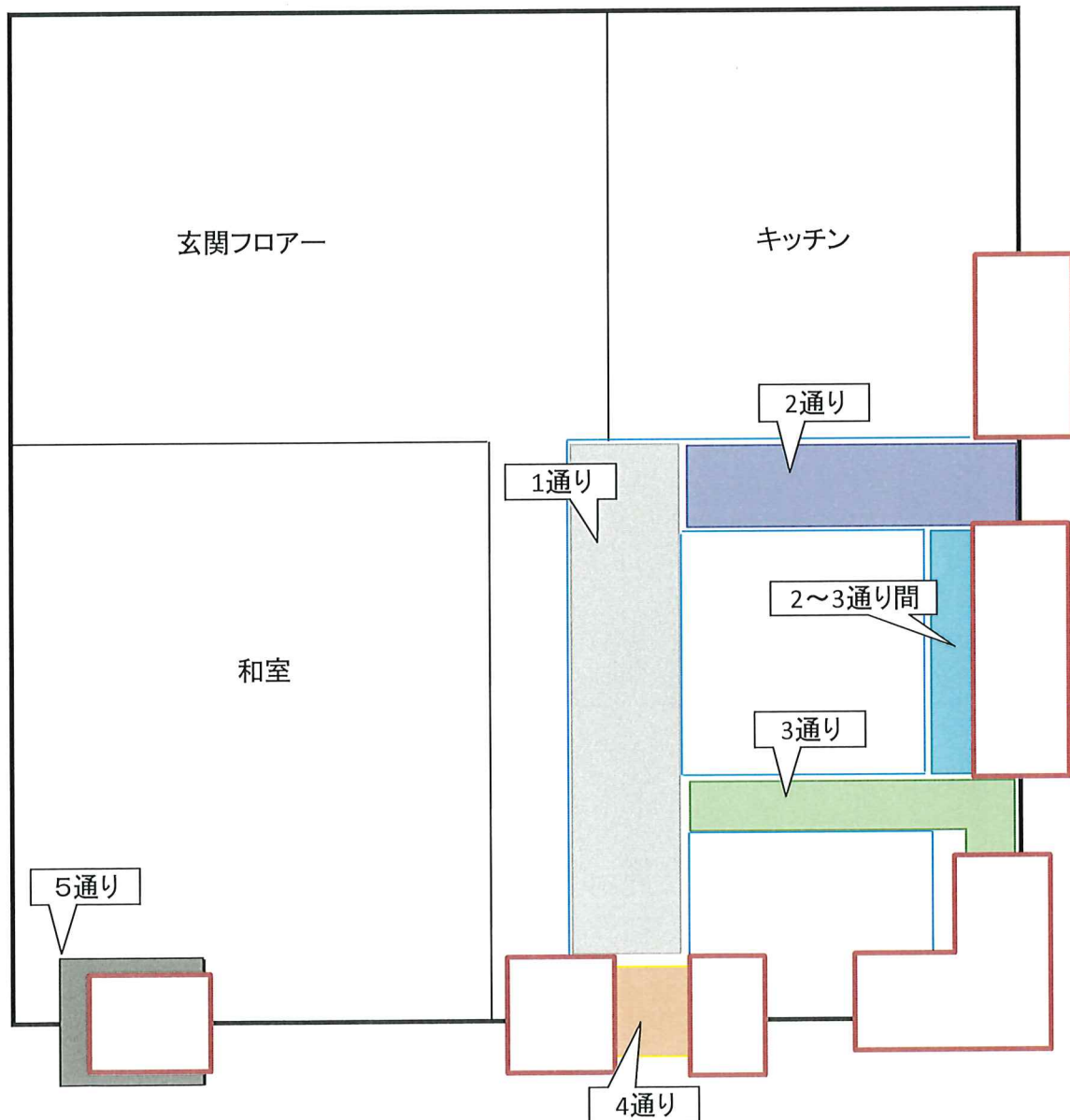


株式会社 やまと工業

(練馬区 某住宅 沈下修正工事)

配置図

	ラップルCON
	1通り
	2通り
	3通り
	2～3通り間
	4通り
	5通り



工事記録写真

(練馬区 某住宅 沈下修正工事)

NO.1



位置:	1通り
撮影日:	平成23年11月28日
掘削・搬出作業	
(手掘り 手排出 手搬出)	



位置:	1通り
撮影日:	平成23年11月28日
(1通り)掘削作業終了時、掘削高さ	
H=1200	



位置:	1通り
撮影日:	平成23年11月28日
(1通り)掘削作業終了時、掘削幅	
W=600	

工事記録写真

(練馬区 某住宅 沈下修正工事)

NO.1

NO.2



位置:	2通り
撮影日:	平成23年11月29日
掘削・搬出作業	
(手掘り 手排出 手搬出)	



位置:	2通り
撮影日:	平成23年11月29日
(2通り)掘削作業終了時、掘削高さ	
H=1200	



位置:	2通り
撮影日:	平成23年11月28日
(2通り)掘削作業終了時、掘削幅	
W=400	

NO.1

NO.3

[illegible]

位置:	3通り
撮影日:	平成23年11月30日
(3通り)掘削作業終了時、掘削高さ	
H=1300	



位置:	3通り
撮影日:	平成23年11月30日
(3通り)掘削作業終了時、掘削幅	
W=400	

工事記録写真

(練馬区 某住宅 沈下修正工事)

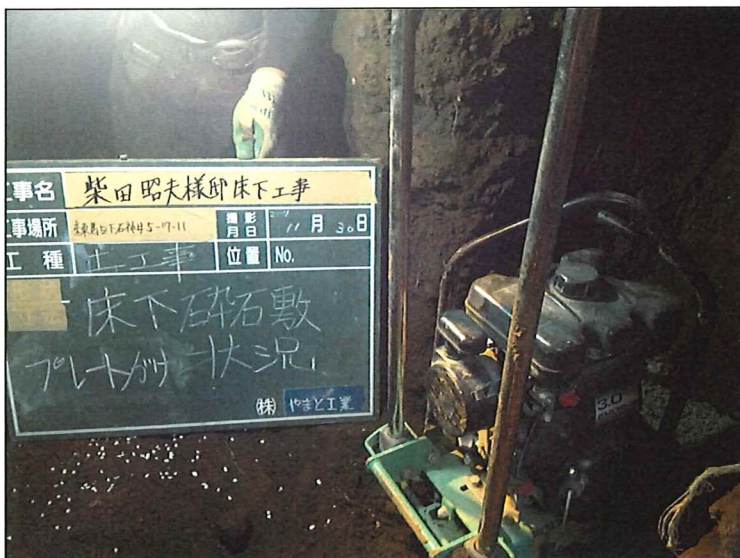
NO.1

NO.4



位置:	2通り～4通り
撮影日:	平成23年11月30日
基礎下ジャッキ用ベースCON打設段取り (砕石敷き)	

H=150



位置:	2通り～4通り
撮影日:	平成23年11月30日
基礎下ジャッキ用ベースCON打設段取り (砕石転圧プレートかけ)	



位置:	2通り～4通り
撮影日:	平成23年11月30日
基礎下ジャッキ用ベースCON打ち	

H=150 W=600



位置:	2〜3通り間
撮影日:	平成23年12月7日
ジャッキ設置状況	
・ベースCON(15cm)、鉄板(19mm厚)、枕木(14cm)2×5段、ジャッキ(28.2cm)、鉄板(19mm厚)、H鋼10cm、枕木(14cm)×1の順番で入っています。	
↑ 合計高さ=1m41cm	
※2〜3通り間は距離が長い為、100×100角のH鋼を使用し、点では無く面で上げています。	



位置:	3通り
撮影日:	平成23年12月7日
ジャッキ設置状況	
・ベースCON(15cm)、鉄板(19mm厚)、枕木(14cm)2×5段、ジャッキ(42cm)、敷き板(2.5cm)の順番で、入っています。	
↑ 合計高さ=1m41cm	
各所ジャッキの設置場所も、ここと同じです	
※ ジャッキ1つで許容荷重10トンまで持ち上げられます。	



位置:	4通り (1)
撮影日:	平成23年12月7日
ジャッキ設置状況	

工事記録写真

(練馬区 某住宅 沈下修正工事)

NO.5

NO.6



位置:	4通り (2)
撮影日:	平成23年12月7日
ジャッキ設置状況	



位置:	5通り
撮影日:	平成23年12月8日
ジャッキ設置状況	



位置:	
撮影日:	平成23年11月30日
埋設物 (CONガラ、ゴミ)	
一部の写真になります。	

工事名	柴田 昭夫様邸床下工事		
工事場所	東京都練馬区	年月日	11月30日
工種	土工	位置	No.
埋設物 (CONガラ)			
(株) やまもと工業			

工事記録写真

(練馬区 某住宅 沈下修正工事)

NO.5

NO.7



位置:	2通り
撮影日:	平成23年12月9日
ラップルCON用型枠材建て込み	



位置:	2通り
撮影日:	平成23年12月12日
ラップルCON打設	



位置:	2通り
撮影日:	平成23年12月15日
ラップルCON打設 完了	

工事記録写真

(練馬区 某住宅 沈下修正工事)

NO.5

NO.8



位置:	3通り
撮影日:	平成23年12月12日
ラップルCON用型枠材建て込み	



位置:	3通り
撮影日:	平成23年12月12日
ラップルCON打設	



位置:	3通り
撮影日:	平成23年12月15日
ラップルCON打設 完了	

工事記録写真

(練馬区 某住宅 沈下修正工事)

NO.5

NO.9



位置:	2～3通り間
撮影日:	平成23年12月7日
掘削作業	



位置:	2～3通り間
撮影日:	平成23年12月15日
ラッフルCON用型枠材建て込み	
高さ 90cm 幅 70cm 長さ 1m50cmでラッフルCONを打ちます。	



位置:	2～3通り間
撮影日:	平成23年12月16日
ラッフルCON打設	

工事記録写真

(練馬区 某住宅 沈下修正工事)

NO.10



位置:	2～3通り間
撮影日:	平成23年12月15日
ラップルCON打設 完了	



位置:	1通り
撮影日:	平成23年12月27日
残土埋め戻し	



位置:	2通り
撮影日:	平成23年12月27日
残土埋め戻し	



位置:	3通り
撮影日:	平成23年12月27日
残土埋め戻し	

転圧しながら土を入れて行きましたが
少し多めに盛り上げておきました。



位置:	4通り (1)
撮影日:	平成23年12月22日
H鋼支柱設置	

※下から、厚さ40cm幅30cm長さ75cmの
コンクリートベース、10cm角のH鋼×2、
20cm角のH鋼 高さ 66cm、19mの鉄板の
順番で、基礎を支える支柱を入れました

サポート: 1本で2トンまで支えることが
できます。

※ここは特に地盤が弱いので、H鋼や
サポート等を入れさせて頂きました。



位置:	4通り (2)
撮影日:	平成23年12月22日
サポート設置	



位置:	4通り (1)
撮影日:	平成23年12月22日
ラッフルCON用型枠材建て込み	
H鋼です。	



位置:	4通り (2)
撮影日:	平成23年12月22日
ラッフルCON用型枠材建て込み	



位置:	4通り(1)
撮影日:	平成23年12月22日
ラッフルCON打設	



位置:	4通り (2)
撮影日:	平成23年12月22日
ラップルCON打設	



位置:	4通り(1)
撮影日:	平成23年12月26日
ラップルCON打設 完了	



位置:	4通り (2)
撮影日:	平成23年12月26日
ラップルCON打設 完了	

工事記録写真

(練馬区 某住宅 沈下修正工事)

NO.10

NO.14



位置:	5通り
撮影日:	平成23年12月22日
ラップルCON打設 完了	



位置:	4通り
撮影日:	平成23年12月28日
残土埋め戻し	



位置:	5通り
撮影日:	平成23年12月22日
残土埋め戻し	



位置:	外周
撮影日:	平成23年12月27日
残土埋め戻し	



位置:	
撮影日:	平成23年12月26日
クラック注入使用材料 (素)	

この2液を混ぜて使用します。



位置:	
撮影日:	平成23年12月26日
クラック注入作業時使用材料・道具	

この細くなっている部分をクラック部分に差し込んで注入していきます。

二つの液を混ぜた物です。



位置:	2通り／3通り／4通り
撮影日:	平成23年12月26日
クラック注入作業	



位置:	
撮影日:	平成23年12月26日
クラック注入作業 完了	

コーキング材とは違い、完全に固まるとコンクリートのように固くなります。



位置:	外部基礎回り
撮影日:	平成23年12月26日
基礎回り補修作業	

モルタルがしっかりと塗れるように下地材（ノリのようなもの）を



位置:	外部基礎回り
撮影日:	平成23年12月26日
基礎回り補修作業	



位置:	外部基礎回り
撮影日:	平成23年12月28日
外部基礎回り補修作業 完了	



位置:	外部基礎回り
撮影日:	平成23年12月28日
外部基礎回り補修作業 完了	

工事記録写真

(練馬区 某住宅 沈下修正工事)

NO.15

NO.18



位置:	2通り／3通り
撮影日:	平成23年12月28日
調湿材敷きこみ	



位置:	
撮影日:	平成23年12月28日
工事完了	